

**令和7年度  
自己評価報告書**

令和8年3月31日

**学校法人 城西学園  
城西放射線技術専門学校**

- ・学則第4条に基づき自らの運営状況について自己点検・評価を実施した。  
本校の教育活動の状況を自ら点検・評価し改善点を今後の教育活動に活かすことを目的とし、毎年実施するものとする。
- ・評価の結果、改善を要する項目について、担当者は速やかに学校長へ報告し、改善計画を検討する。
- ・評価は、「専修学校における学校評価ガイドライン」を基に4段階評価（4：大変良い 3：良い 2：あまり良くない 1：良くない）とした。

本校は2025年11月の理事会において、募集停止が決定された。

今後は学生数の減少に伴い変化していく環境において、在校生には変わらぬ教育を提供していくべく、自己点検を行っていく。

## 基準 1 教育理念・目的・育成人材像

本校は現在地にて昭和 35 年 4 月 1 日付、城西レントゲン技術専門学校として発足

昭和 46 年 4 月 1 日付、城西放射線技術専門学校と名称変更

昭和 51 年 6 月 1 日付、私立専修学校として認可

診療放射線学科のみの夜間課程単科校であり、修業年限は 4 年である。診療放射線技師養成校として現代医療に求められる知識と技術の習得、信頼される人間性を養うということを教育の柱としている。

(1)入学時から一貫して国家資格取得が教育目標。

(2)城西学園校訓に「報恩感謝」を掲げており、恩や恵みに対して感謝の気持ちを持つことをいう。

これまでに受けた恩や恵みに感謝し病んだ人を思いやり医療人として恩に報いる、奉仕の精神を持つ医療人の育成教育を目標としている。

(3)本校の入学受入れ方針は以下の通りである。

- ・ 専門学校で学ぶことに対して確かな目的意識を持ち、学ぶ姿勢を大切にする方
- ・ 社会人としての自覚を持ち、職場や学校での言動、身だしなみについて礼儀や常識を心得ている方  
また、そのことについて学ぶ姿勢を持つ方
- ・ 心身ともに健康な方で、公私に関わらず、他者への思いやりを持っている方
- ・ 医療の現場はチーム医療が重要であり、コミュニケーション能力・連帯感を常に意識している方
- ・ 医療および医療技術に関心を持ち、適正があると考えている方

これらの理念は学生便覧に記載されており、学生には新年度のガイダンスで毎年周知されている。

### 【課題・改善策】

- ・ 夜間課程での 4 年間、モチベーションを維持できるよう、学生指導については日々検討を行っていく。
- ・ 医療従事者として必要な患者に寄り添う精神を在学中に養えるよう、学生生活においても教育していく。

	評価項目	評価
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められている	4
2	教育理念・教育目標・育成人材像は専門分野におけるニーズに伴っているか	4
3	理念達成に向けた教育活動を行っている	3
4	教育理念・教育目標が周知されている	3

## 基準 2 学校運営

- (1) 原則、隔週実施される全員参加の職員会議では教職員が議題を発案・内容発表。会議後は議事録を作成し、次回会議の冒頭で前回の議事録の実施状況確認している。
- (2) 城西学園理事会・評議委員会において本校の職員は評議員・事務局として出席し、事業計画や運営方針などの決定事項を職員会議にて報告し、教職員全員へ周知徹底している。
- (3) 期初に教務部、事務部の「業務分担表」を作成して担任・副担任ならびに学校行事を含めた担当を明確化し、学生指導に向けて各人が責任を持って取り組むようにしている。
- (4) 学校法人 城西学園（中学・高等学校、専門学校）として規程や運営については連携をとっており、教職員がクラウドシステム利用により情報の共有化を図っている。

### 【課題・改善策】

- ・長年、中高と専門学校は同一法人ながら分かれて運営されており、募集停止に向けての協力体制を協議する必要がある。
- ・共有フォルダは管理者が定まっていないため、削除出来ず容量が不足しがちなので、運用について検討する。

	評価項目	評価
1	目的に合った運営方針が策定されている	3
2	運営方針に沿った事業計画が策定されている	3
3	運営組織や意思決定機能は規則等において明確化され、有効に機能している	2
4	人事、給与に関する規定等は整備されている	2
5	組織整備など意思決定システムが整備されている	2
6	教育活動に関する情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っている	2

## 基準3 教育活動

### 目標の設定

- (1) 本校のカリキュラムは教育課程に則り、国家試験合格に向け十分な内容で体系的に構成されている。各科目の教育目標はシラバスに明記し、授業初日に学生へ改めて周知している。
- (2) 成績評価・単位認定の基準ならびに卒業要件については「学生便覧」に記載しており、新年度のガイダンスにて周知している。  
また、進級判定・卒業判定は、教職員全員が参加し、進級判定会議・卒業判定会議にて規定に基づき行われている。
- (3) 本校にて編集した実力・模擬・総合試験問題集を全教員、3・4年生に配布し、授業と自習に役立てている。
- (4) 教員間で授業の進捗状況や学生指導について日常的に話し合われており、職員も含めて改善についての意見交換をしている。
- (5) 実習前研修として、外部講師を招いて病院での接遇や社会マナーを学ぶ機会を設けている。
- (6) 4年次には月に1回、3年次は年2回、国家試験と同様の模擬試験を実施し、学力を把握するとともに、終了後は知識を深めることを目的としてレポートを作成し添削している。

### 【課題・改善策】

- ・ 学力不足の学生はレポート作成に時間が足りずに提出に追われている学生もいるため、フォローが必要。
- ・ 教員の勉強会や研修への参加を奨励しているが、日程調整が必要な場合もあるため遠慮がちになっている。

	評価項目	評価
1	理念・目的に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めている	3
2	学年毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	2
3	授業評価の実施・評価体制は整っているか	3
4	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確か	4
5	資格取得に関する指導体制は確立されているか	3
6	教員の資質、指導能力向上のための取り組みが行われているか	2

## 基準 4 学修成果

- (1) 昼間に医療機関でアルバイトに従事している者も多く、現場で得られた知識が授業にも活かせること、卒業後にアルバイト先に就職する者など働くことがプラスになることもあるため、勉強の妨げにならない程度に医療機関へのアルバイトを紹介している。
- (2) 入学者全員が国家試験に合格することが開校以来の目標。無断欠席や欠席過多の者は担任が保証人と連携し、本人の学習意欲と継続の意思確認を行っている。
- (3) 臨床実習施設へ訪問の際に情報交換を行っているほか、同窓会ネットワークを活用し、就職希望者には決定まで就職支援を行っている。また、卒業後に離職した卒業生に対しても同様の支援をしている。
- (4) 就職活動、病院実習の実習前研修としてマナー研修を行っている。
- (5) 退学率軽減を目的とし、カウンセラーによる面談を行っている。

### 【改善策】

- ・卒業後の連絡先を募っているが、就職先の決定が卒業式以降になる学生は引っ越し等で音信不通となることも多くなっている。卒業後も気軽にコンタクトがとれるよう今後は連絡先をメールアドレスに出来ないか検討する。
- ・欠席過多の学生がカウンセリングを必要としているケースが多いが、担任からの連絡にも応じない学生も多く、来校が難しい場合もあり根本的な解決が必要。

	評価項目	評価
1	就職率の向上が図られている	4
2	資格取得率の向上が図られている	3
3	退学率の軽減が図られている	2
4	卒業生・在校生の社会的な活動や評価を把握している	2

## 基準 5 学生支援

- (1) 就職等進路についても、国家資格の取得が大前提であり、取得しない場合は内定が取り消されるため、就職担当者と担当教員が連携し、成績と就職活動について個別指導をしている。  
卒業後も在校生と同様に就職支援を行っており、転職希望の学生の相談にも応じている。
- (2) 学校生活の状況を把握してもらうため前・後期試験終了後、保証人宛に「定期試験成績表」（科目毎の点数と単位取得の可否）を送付し、学生サポートの協力を仰いでいる。
- (3) 教員のメールアドレスを公開し、いつでも質問できる体制を取っているほか、講義以外にも個別相談の際に役立てられている。
- (4) クラスメイトとの交流を目的とした校外研修、病院見学など、勉強するモチベーション維持に繋がるよう学校行事を行っている。
- (5) 学習に空白のある社会人や文系選択で理数科目が苦手な学生も多いため、入学前の事前学習としてオンラインで行う自主学習 e-ラーニング（1年間利用可）を設け、学習計画表と共に事前学習・自己学習の場を提供している。質問はメールや電話でも受け付けており、活用されている。
- (6) 学校独自の奨学制度はないが、授業料の延納など支払期日に間に合わない学生については相談に応

じて金額の分納払いを提案するなど、柔軟に対応している。

これらの情報は担任とも連携をしており、経済的理由のため勉強する時間がなくなっていないか、面談等で確認している。

#### 【課題・改善策】

- ・ 働いている保証人も多く連絡が取れにくいため、任意でメールアドレスを取得し、学校生活への支援を依頼する。
- ・ 就職活動において近年は履歴書や証明書をデータ送付するケースもあり、本人が証明書を開封して申請している。その場合、学校への許可なしに就職活動を行う可能性が出てきている。

	評価項目	評価
1	進路指導に関する体制が整備されているか	3
2	学生生活に関して相談できる環境は整備されているか	3
3	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
4	学生の経済的な支援体制はあるか	1
5	保護者と適切に連携しているか	2
6	卒業生への支援体制はあるか	2
7	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	3

## 基準 6 教育環境

- (1) 設備や清掃等のメンテナンスを定期的を実施。機器の管理補修も適宜に行われている。  
校舎はすべてバリアフリーでエレベーターを完備。休憩所には電子レンジがあり、働きながら学ぶ学生に役立てられている。
- (2) 法令で定められている病院実習は、各施設の担当教員が事前に受け入れ先と十分な協議をし、実習調整担当教員が全体を管理している。また、1年次には診療放射線技師の業務を見学するため病院見学を実施している。
- (3) 「学校法人城西学園 消防計画」を作成し、消防設備等についても、法定点検を実施。学内に設置している自動販売機は緊急時飲料提供自動販売機であり、非常災害時に対応可能。災害時には防火・防災管理者の資格を取得した職員が対応する。
- (4) 図書室には専門書ならびに学術雑誌を備えている。閲覧室は午前 10 時より解放し、自習をする学生に役立てられている。
- (5) 病院実習先は平成 28 年に 10 施設追加し、選択を増やすことで実習後に授業を受ける夜間課程の学生にとって実習と通学の利便性を図っている。
- (6) 姉妹校の日本医療科学大学と合同で臨床実習連絡会を実施しており、カリキュラム変更や実習指導など意見交換を行っている。

#### 【課題・改善策】

- ・ 実習期間など地下図書室の利用が減った際に湿度が溜まり、不具合が生じている。  
除湿器で対応しているが、その他に改善できないか検討する。
- ・ 臨床実習連絡会にて周知を依頼した病院実習におけるハラスメントについて、改善されているか、問

題はないか確認する。

- ・ 中学・高校と同敷地内にあり、別校舎において夜間に災害など発生した際の対応について協議が不十分なため、学校法人として連携を取り対応出来るように整備する。

	評価項目	評価
1	施設・設備は教育上、十分に対応出来るよう整備されているか	3
2	学外の実習やインターンシップについて十分な教育体制が整備されているか	3
3	防災に対する体制は整備されているか	2

## 基準 7 学生の募集と受け入れ

- (1) 2026年4月の入学生を最後に募集停止となり、停止が公表された難しい状況での広報活動となった。
- (2) 説明会も受験対象者以外（高校2年以下）は参加をお断りしたため、参加人数が少ない場合は個別説明とした。

	評価項目	評価
1	学生募集活動は、適正に行われているか	2
2	教育成果の情報提供は正確に伝えられているか	3
3	入学選考は、公正かつ公平な基準により行われている	3
4	学納金は妥当なものとなっている	3

## 基準 8 財務

- 1) 借入金はなく、中長期的に見て財務基盤は安定している。
- 2) 財務については年に数回行われる会計監査、学校法人で監事による監査を行い適切な対応をしている。
- 3) 授業料に関する規定の遵守は基本だが、学生個人の状況を考慮し担任とも連携を取った上で柔軟に対応している。学納金の未納はない。

### 【課題・改善策】

- ・ 建築して10年以上が経過し、校舎のメンテナンスを計画的に行う。
- ・ 修繕に必要な資金を計画的に予算化、組み立てていく。

	評価項目	評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
3	財務について、会計監査が適正に行われているか	3
4	財務情報公開の体制整備はできているか	2

## 基準 9 法令等の遵守

- 1) 関係法令及び設置基準等を遵守し、関係省庁の指導のもとに適切に学校運営されている。関係省庁からの通知、通達等の内容を学内で共有し、対応している。
- 2) 個人情報の利用について目的を定め、入学時に取り扱いについての同意書を取っている。この内容については教職員にも周知され、遵守を心掛けている。資料請求者、学校説明会・体験入学者等の個人情報は目的以外には一切使用していない。
- 3) 学内で使用するパソコンに対して情報流出保護システムを導入している。
- 4) 自己点検・自己評価は年に1度行われているほか、全教職員が参加する職員会議では提議された問題について情報共有している。
- 5) SNS 利用に際して責任が伴うことを入学時と実習前に指導している。

### 【課題・改善策】

- ・募集停止により、自己点検による改善がどこまで可能なのか。都度検討し、改善に努めていく。
- ・個人情報については保管基準を設け、定期的に処分していく。

	評価項目	評価
1	法令、設置基準を遵守し、適正な運営がされているか	3
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
3	自己点検・自己評価の実施と問題の改善に努めているか	2
4	自己点検・自己評価の結果を公開しているか	3

## 基準 10 社会貢献・地域貢献

- (1) 城西中学・高等学校の文化祭（しいの木祭）実施時に、本校も医療機器の見学・体験実施、骨密度測定などを通じて地域住民と交流を図っており、好評を得ている。
- (2) 夜間校である本校は昼間に働いている学生が多く、社員としてフルタイムで働く学生もいるため、ほとんどの学生は地域ボランティアに充てられる時間自体が取れない。
- (3) 学校に届くボランティア募集などは掲示しており、参加を推奨している。

### 【課題・改善策】

- ・学生数が減少していくなかで、ボランティアに参加可能な学生はわずか。その中で、出来ることを検討する。

	評価項目	評価
1	学生の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2
3	地域活動に積極的な参加をしているか	1